

平成25年1月7日

各位

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤紳勝
(コード番号：6788 東証第一部)
お問い合わせ先
経営企画部長 清水崇文
(TEL：06-6456-4600)

電解水透析システムの医療機器化のための補助金（約1.9億円）採択について

この度、福島県が産学官の連携により医療機器関連分野の産業振興と集積を図るため、平成17年度から実施している「うつくしま次世代医療産業集積プロジェクト」の「平成24年度ふくしま医療福祉機器開発事業」に、当社が研究開発する電解水素水^(※1)の医療分野への応用として注力している電解水透析^(※2)の研究開発事業が採択されましたのでお知らせいたします。

当補助金総額は約1.9億円であり、平成24年度第2回復興促進プログラム（独立行政法人科学技術振興機構（JST/所管官庁：文部科学省：補助金総額4,600万円）に続く研究補助金採択となり、今後、電解水透析の更なる普及が期待されます。

<事業参画企業及び団体>

- （臨床研究）： 福島県立医科大学、一般社団法人電解水透析研究会。
- （機器開発）： 株式会社ピュアロンジャパン、株式会社日本トリム、株式会社トリム・メディカル・インスティテュート。

【ご参考】 「第6回電解水透析研究会開催のお知らせ」

2013年2月2日(土)、富国生命ビル（東京都千代田区）にて、(社)電解水透析研究会主催の第6回電解水透析研究会が開催されます。本年より電解水透析を導入し臨床研究を進めているスウェーデンのカロリンスカ大学病院とカロリンスカ研究所より、電解水透析に関する特別講演も行われます。当研究会の詳細及び参加お申し込みにつきましては以下の日本トリムWebサイトをご確認ください。

http://www.nihon-trim.co.jp/others/news/2012_medical.html#m121101

※1. 電解水素水

水の電気分解によって得られる水素を含んだアルカリ性の水で、飲用分野では、生成する整水器が薬事法により定められた家庭用医療機器として「胃腸症状の改善」に効能効果が認められている。また医療・農業・工業の各分野への応用も推進されている。

※2. 電解水透析

日本トリムが、電気分解によって生成される水素（H₂）が活性酸素を消去し酸化ストレスを抑制することに着目し開発した、水素を含有する血液透析液を用いた新規治療法。国内では福島県立医科大学、東北大学、海外ではカロリンスカ研究所（スウェーデン）、台湾大学などと臨床研究を推進している。

以上